

和剣

和歌山県スポーツチャンバラ協会
〒641-0007 和歌山市小雑賀89
TEL 073-422-0308
FAX

VOL. 52

2009年 12月 日

1. 第17回合同稽古会の結果。

10月4日の大会へは32名の選手が参加。会場の体育館が綺麗で広いことから、個人戦では少年部は1回戦から3本勝負で、一般部は総当り制で試合を進行。各選手にはきつと、伸び伸びと力一杯に、納得の行く試合を楽しんで貰えたことと感謝しています。審判員も不足でしたので、2審制、3審制を弾力的に採用。運営委員団、審判団等の皆様には御疲れさまでした。今後の大会においても“和歌山流”の創意・工夫に取り組みたいものです。

2. 第4回段位審査会及び第3回審判講習会中止のお知らせ。

12月19日(土)の午後1時から本町道場で段位審査会を実施します。受審希望者の都合により、日程変更することも可とします。受審希望者は早急に事務局へ連絡を入れて下さい。

3. 2015年和歌山国体デモンストレーション競技実現への取り組み。

12月19日(土)の段位審査会の後、本町道場で審判講習会を実施します。受講希望者の都合に応じ、日程変更することも可とします。受講希望者は早急に事務局へ連絡を入れて下さい。

4. 白浜町でのインストラクター講習と段位審査会の実施案について。

5. 串本町での道場立ち上げ案について。

☆無用の争いを避けるための「礼」★

武士は、いったん刀を抜けば、血を見ないことには納まりがつかない。しかし、つまらぬ言い争いで命を落とすのは、それこそ主君や一族の者に申し訳ないし、忠孝も立たない。そこで武士は、無用の争いをしないように、日頃の立ち居振る舞いに細心の注意を払うことになる。これが「礼」である。武士は上役はもちろんのこと、同輩や部下たちに対してさえも、相手の名誉を傷つけないように日頃の言動を慎む。したがって、無駄口は控え、寡黙になる。さらに、無用の争いを避けるため、先の先まで慮る。すなわち、「遠慮」し、事前に相手を制するための「深謀」をめぐらす。ここからサムライの「深謀遠慮」が生まれる。武士の「礼」とは、相手を侮らず、他人の侮りを許さず、無用の争いを避けながら互いに敬意を表する武人の姿なのである。その姿には当然のことながら、毅然として犯しがたい「威厳」がある。

(鈴木壮治・立川隼人著「サムライ資本主義」—「武士道」が「資本と力の論理」を超える—

PHP研究所発行 より抜粋)